

オーストラリア英語拾い歩き

一言語は使用者の生き様を表現する道具—

柏瀬 省 五

前口上

人が歩くと英語に当たる

オーストラリア・シドニーを歩き回って拾った英語

所変われば英語は変わる

英語の標識・注意書き・案内・看板・宣伝文句・説明書きから・落書きまで

百聞も百見も拾ってなんぼ

見ても聞いてもわからにゃ損損

オーストラリア英語の急所を探る

オーストラリア英語のここを知れ

これを知らなきあ知ってるとは言えぬ

これがオーストラリア英語

これもオーストラリア英語

時は1990年、私が拾ったオーストラリア英語

ほんの一部を公開しよう。

それでは開演 シドニー「クー リン ガイ チェイズ 編」

歓迎 歓迎 シドニー (Sydney) 北方 自然の宝庫

KU-RING-GAI CHASE NATIONAL PARK

APPLE TREE BAY

AREA OPEN SUNRISE TO SUNSET ONLY

クー リン ガイ チェイズ (Ku-Ring-Gai Chase) 国立公園

アップル ツリー ベイ (Apple Tree Bay) 湾

日の出から日没まで開園 (夜間は閉園)

別な看板に、次の説明がある。

ku-ring-gai chase

The park was the second national park for Australia and was reserved in 1894. It now covers 14,709 hectares and is part of the Hornsby plateau.

クー リン ガイ チェイズ

この公園はオーストラリア第2の規模を誇る国立公園
1894年に政府の所有地となった。現在14,709ヘクタール
ホーンズビー台地の一角にある。

□英語解説

Ku-Ring-Gai クー リン ガイは 原住民アボリジニー語から。シドニー北部。
Chase チェイズは 道が行き止まりになる地域 自然保護区域。

この公園に含まれる地域は次の通り。

Bobbin Head	ボビン ヘッド
Apple Tree Bay	アップル ツリー 湾
West Head	ウェスト ヘッド
Coal & Candle Creek	コール & キャンドル クリーク
Cowan Water	コーワン 水路
The Basin	ザ ベイスン

□英語解説

Head は 突端 岬

Apple Tree は オーストラリアではユーカリ (Eucalyptus) の木のこと

Kaikari カイカリは原住民アボリジニー語からの地名

Creek クリークは 川 人工河川

Water は 湖 水路 入り江

Basin は 窪地

この公園入り口の歓迎看板には、「キャンプ用炊事場有り」「トイレ有り」「たき火禁止」「バーベキュー施設有り」「電話ボックス有り」「犬連れ込み禁止」の絵標識がついている。

傍には、「ボビン岬の改修工事」を宣伝する看板がある。その説明は次の通り。

BOBBIN HEAD

REDEVELOPMENT

ESTIMATED COST 1.500.000

WORKS WILL INCLUDE

Shelter Shed Restoration

Landscaping of Grounds

Bobbin Inn Restoration

Walking Track Upgrading

Wharf Reconstruction

Provision of Information Centre

JOHN WHITEHOUSE

DIRECTOR

N.S.W. NATIONAL PARKS

AND WILDLIFE SERVICE

ボビン ヘッド (ボビン岬 海あり山ありの美しい国立公園)

再開発計画予算総額150万ドル (およそ1億6000万円)

実施する改修

避難小屋の改修

広場の景観整備

ボビン小屋修復
遊歩道の改善
船着き場の修理
案内所の設置
ジョン ファイトハウス
主任

ノース サウス ウェールズ 国立公園
野生動植物支援局

公園内の看板を紹介しよう。

we hope
you enjoyed
kalkari
Remember there are
many other tracks and
places to see in
Ku-ring-gai Chase.
Please ask at the desk
for further information.

カルカリ自然公園をお楽しみください。

クー リン ガイ チェーズには
沢山の観察道等、見るべきものが
沢山あります。

詳細は、案内所でお尋ねください。

シンプルな案内標識。

KALKARI BUSH
DISCOVERY TRACK
Open: 9 am - 4.15 pm

7 days per week

Closed: Christmas Days

Please note: The exit gate is locked
at 5 pm each day.

KALKARI BUSH

DISCOVERY TRACK

Time: 1/2 hour easy walk

カルカリの森自然観察道

開園:午前9時—午後4時15分

週7日 (土日も開園)

閉園:クリスマス (12月25日—31日)

注意:出口の門は毎日

午後5時に施錠します。

カルカリ ブッシュ

探索路

時間: 30分 楽々コース

次のようなしゃれた案内もある。

I am the kalkari bush.

This track will lead you past someany
treasures. They may seem hidden but be
gentle and patient.

Touch and smell me, listen to me, open
your eyes and you will discover me.

TOUCH / SMELL / HEAR / SEE

私は カルカリ ブッシュ

この観察道をたどっていくと、私たちが大切にしている自然の宝庫にたどりつきます。自然はひっそりと隠れていますが、やさしく我慢づよいものです。手で自然に触れて下さい。鼻で香りをかいでください。耳をすまして聞いてください。目でよく見てください。私がどんなものが解ります。

次は ハイキングコース案内。

BEROWRA TRACK —7 KMS
TO BEROWRA VIA
COWAN CREEK AND WARATAN BAY

BEROWRA AND MT KU-RING-GAI TRACKS
TO MT KU-RING-GAI VIA
COWAN CREEK —8.4 KMS

ハイキングコース案内をもう1つ。

ベロウラ観察道 7キロメートル
コウワン河・ワラタン湾経由ベロウラまで

ベロウラ・クーリングアイ山観察道
コウワン河経由ベロウラ・クーリングアイ山まで 8.4キロコース

kalkari bush discovery track

time: 1/2 hour walk. Please do not smoke.

Visitor Centre Entrance /Exit→ONE WAY

→ Walking Track → Animal Grazing Area

→ Lookout → Pond → Lookout → toilets

→ Visitor Centre Entrance/ Exit

カルカリ ブッシュ 観察道

所要時間: 1/2 時間 禁煙です

公園事務所出入口 → 【一方通行】

→ 観察道 → 放牧区域

→ 展望台 → 池 → 展望台 → トイレ

→ 公園事務所出入口

公園を楽しむにはルールがある。次にいろいろな注意書きをみてみよう。

NO FOOD DRINK

OR SMOKING PERMITTED

IN VISITOR CENTRE

OR ON DISCOVERY TRACK

ビジターセンター内

観察道上では

飲食禁止

喫煙禁止

□参考解説

公園内では、次のことが堅く守られています。

すべての動物、植物、鳥の採集、捕獲は禁じられています。

犬を連れて入園出来ません。

火は指定された場所で焚いてください。

□参考 公園の利用の仕方

公園へは自動車で来るのが普通。ここまで車でヨットを引っ張ってきて、ここから入り江（COVE、海）に船で乗り出す人も多い。バーベキューは最もポピュラー。

□参考 公園利用の常識は次の通り。

公園内では指定の食事場所 (Picnic Area) 以外では、食べ物は食べられません。ビジターセンター内での飲食・喫煙は禁止。動物に餌を絶対与えてはいけません。餌は飼育係が決められた場所で、決められた時間に、決められたもののみを与える。一般の人は公園にいる動物に絶対に餌をやってはいけません。これは公園利用者の常識。オーストラリア郊外では、建物のある敷地、通路以外は「ブッシュ」と呼ばれる。草木が自然に生えているところはブッシュ。高木は常緑樹のユーカリ (eucalyptus) とオーストラリアの国花、美しい花をつけるアカシア属の"ワットル" (wattle) が多い。

公園内の動植物の説明をみてみよう。

まずは鳥の説明。公園の看板は図入りだが、ここでは印刷の都合で図は割愛する。

birds in ku-ring-gai chase

Over 160 birds have been identified in Ku-ring-gai Chase National Park. This sign will help you identify those commonly seen in this area.

SEED EATERS (図省略)

HONEY EATERS (図省略)

MEAT EATERS (図省略)

クーリングアイチェーズにいる鳥
クーリングアイチェーズ国立公園には
160種以上の鳥がいる。下記の絵
を参照して、ここでよく見られる鳥を
観察してみよう。

木の実を食べる鳥 (9種 図省略)

花の蜜を吸う鳥 (3種 図省略)

動物の肉を食べる鳥 (6種 図省略)

□参 考

図を省略したので、補足として、オーストラリアで普通に見られる鳥の名前のみ紹介する。一般にオーストラリアの鳥は、オームのように冠をつけた鳥が多く、色は派手で、尻尾は一般に長い:

COCKATOO コカッター (オーム)

PARROT オーム

KOOKABURRA ワライカワセミ

ROSELLA ローゼラ (インコ)

GALAH ガラ (インコ)

MAGPIE カササギ

CURRAWONG カラウオン

RAVEN レイブン 烏

PIGEON ハト

WATTLE BIRD ワットル (アカシア科の木)バード

次は植物。オーストラリアの "ご神木" から紹介する。

the

captain

cook

tree

キャップテンクックの木

□参 考

実のところは、「シドニー赤ガムの木」である。オーストラリアでは「ガムツリー」とは「ユーカリの木」をさす。従って、ユーカリの大樹である。ユーカリはオーストラリアで最も普通に見られる常緑高木。建築材料としてよく使う。幹に傷をつけて樹液も採る。キャップテンクックが1770年に初めて東海岸を探索した当時は、このよじれた年代もの大樹は、まだほんの小さ

な若木だった。それから成長し、枝を広げ、夏ごとに樹皮を剥ぎ、新しいすべすべした赤い幹の大木となった。かくして名づけて「キャップテンクックの木」。

hope you ever heard of

she-oaks

he-oaks

オークの木には
オス木、メス木があるのを
知ってる？

□参 考

雌雄異株の木では、オス木が花粉をつくって、メス木の雌しべに受粉する。オークの木は、オス木とメス木が別々であるにもかかわらず、オーストラリアのオーク（欐）は全てshe-oak（メスオーク）と呼ばれる。それは英国の幹が柔らかいオーク（欐）に似ているためだ。オーストラリアでは、幹が英国のオーク（欐）と似ている木は全て"オーク"と呼ばれるが、実際にはオークでないものもある。

公園内の木には、名前だけの標識をつけた簡単なものもある。しかし、学名はラテン語からつくったものが多いから覚えにくい。

black she-oak

Casuarina littoralis

黒メスオーク

(学名) カスアリーナ リットラリス

MANGROVES

SPRING GULLY CREEK

This creek is one of the many tributaries to

Cowan Water.

Like many of the creeks in the park, its catchment area is in a suburb, Hornsby. Soil from building activity, household wastes and weeds are added to the water; shallow and polluted water and problem plants are the result.

マングローブ

スプリング ガリー クリーク

このクリークは数あるコーワン湖へ流れ込む支流。

公園内にある河川の多くと同じく集水地域はホーンズビー。建設現場からの流土、家庭廃水、雑草等が原因で土砂が流れ込み、水域が浅くなり、水が汚れ、結果としてマングローブは瀕死状態にある。

□参 考

マングローブは匂いが強い。しかし、動物にも人間にも大切だ。地虫（食料になる）、エビ、カキ（蠣）、小鳥、コウモリなどがそこに逃げ込み、住みかとする。丈夫な根は河岸や土手を保護する。この木の落ち葉は、魚やプランクトンの重要な食料供給源となる。このようにしてマングローブは海産食料資源の出発点である。

次は、動物。

Please don't
walk on their dinner.

Grey kangaroos and
some wallabies eat here
in the early morning and

late afternoon.

お願い

お食事の上を歩かないでください。

グレーカンガルーとワラビーが
ここで早朝と晩に食事をします。

□参 考

これは動物の餌場に、人間が立ち入ることを禁じた注意書き。餌は自然の木の実に。管理人が用意している場合もある。

the emu

Australia's largest bird, the flightless
emu is indeed a liberated species.

Once the female has laid her clutch of
large green eggs she leaves her mate
to incubate and raise the young.

The male rarely leaves the nest, living
off the fat reserves he has built up
before nesting starts in late autumn
or winter.

エミュー

オーストラリアで最も大きな鳥。

鳥とはいっても空を飛ばないエミュは
地上を自由に動き回る。

メスは大きな緑の卵を産むと、それを
オスに任せて巣を出ていく。オスが卵を
抱き、雛を返して育てる。

オスは晩秋か冬に巣作りを始めるが、その前に蓄えた脂肪で生き続け、巣を離れることはめったにない。

Koalas in this area are only a very small percentage of the Parks Koala population.

Most Koalas live and breed in the trees of the Park in which they are free to roam & live naturally.

この辺りに住むコアラは、公園内に住むコアラのうちでもほんのわずかなものです。大部分のコアラは公園内の木の上に住み、子供を育てています。コアラは木の上のほうが移動しやすく、生活しやすいからです。

(これはチョークによる手書きの説明でした。)

その他、オーストラリアでよく見られる動物の名前だけを挙げておこう。
シドニー郊外にあるコアラ園 (Coala Park) の案内標識のリストを示す。

DINGOES	デンゴ (野生の犬)
ECHIDNAS	エチドナ
KOOKABURRA	コカバラ=カワセミ
WOMBATS	ウォンバット
GALAHS	ガラ (オーム)
POSSUMS	ポッサム
WHITE COCKATOOS	白コカッター (オーム)
BLACK COCKTOOS	黒コカッター (オーム)
TAMMAR WALLABIES	タマーワラビー

GANG-GANG COCKTOO	ガンガンコカッター
RED KANGAROOS	赤カンガルー
SWAMP WALLABIES	湿地ワラビー
WEDGE TAILED EAGLES	のこぎり尾ワシ
GREY KANGAROOS	灰色カンガルー
WALLAROOS	ワラルー(ワラビー・カンガルーの交配種)
EMUS	エミュ
COALAS	コアラ

□参 考

このコアラ園では、見学者にコアラをだっこして記念写真を撮らせてくれたが、最近では動物愛護の観点から、だっこしての記念写真撮影会は止めている。

最後に、公園利用の注意書きを紹介して終わりとしよう。

まずは、穏やかな注意(お願い)

PLEASE KEEP TO PATHWAYS

お願い 観察道(通路)からはでないで下さい。

□参 考

自然の動植物を観察する時、決められたコースだけ歩く。オーストラリアではプッシュと言ってもユーカリの大木の林で、灌木の茂みではない場合が多く、道でない所を歩こうと思えば歩けるところも多い。が、道以外は立ち入らないのが安全だし、常識。

次は、理由を挙げての説得タイプの注意。

DUNE AREA

THIS AREA IS ESSENTIAL
FOR BEACH STABILIZATION

PLEASE KEEP OUT

砂丘保護区

この区域は海岸保全に大切な所です。

お願い 立ち入り禁止です。

よくある普通の禁止事項・注意

DOGS PROHIBITTED

犬を連れては入れません

SWIM BETWEEN THE FLAGS

海水浴は旗と旗との間のみで

NO FISHING

FROM BRIDGE

橋の上で

魚釣り禁止

FIRES

ONLY IN

AUTHORISED

FIRE PLACES

焚き火は、必ず

決められた場所で

そして、違反への罰則もしっかり書いてある。

PENALTY \$100

違反罰金最高\$100

今回はこれで終わり。

EXIT
PLEASE CLOSE GATE
WHEN LEAVING

出口

お願い、お帰りの際は、戸を
閉めていってください

□参 考

自然公園の出口は、客が自分で戸を閉める。自然公園では、野生動物が出ないように、出口に網戸が取り付けられている。バネがついていて、自動的に閉まる。

結 語

小論で、私がシドニーで採集したオーストラリア英語を紹介した真のねらいは、読者に「言語は使用者の生き様の指標である」ということをわかってもらうためであった。紹介したオーストラリア英語からわかるとおり、言語の使用者は必ず自分仕様の言語を作って使っている。自分仕様の言語で、自分の生活、自分の生き様を表現する。オーストラリア人は「オーストラリア人仕様の英語」で、「オーストラリア人の生き様」を表現しているのである。

今日日本では、「英語のできる日本人を育成する行動計画」に国を挙げて取り組んでいる。これが成功するかどうかは、「日本人が日本人仕様の英語をつくって、日本人の生き様を英語で表現する」気概があるかどうかにかかっている。これまでの外国語としての英語学習では、「英語が使える」という点で、明らかに失敗であった。

日本人が真に英語が使えるようになるためには、英語を外国語として位置づけるのではなく、英語を「我々の言語」すなわち、「国際語としての英語」と捉え、オーストラリア人がオーストラリア英語をつくって使っているように、日本人は、「日本人仕様の英語」をつくって、「日本人の生き様、日本人の生活」を表現する訓練を実践することにつきる。「英語を自分の生きる道具として学ぶ」ことに没頭する必要がある。

【終わり】